

■緩和ケアチーム

□基本方針

緩和ケアチームは、がんの患者さんご家族の心と身体の痛みやつらさなどの苦痛を緩和することを目指しています

□部門紹介

緩和ケアとは、一昔前はすべての治療を施したあとの終末期医療と考えられていましたが、現在は、がんと告知された時から、治療を行いつつ、その時期と症状に合わせて進めることが大切であると言われてしています。

当院には、緩和医療診療部はありませんが、緩和ケアチームは、入院中もしくは外来通院中の患者さんの苦痛が緩和されるように、主治医の先生との協働を目指しています。

治療の経過に応じて、関わらせていただくこともあります。ご希望される患者さんは、主治医もしくは医療スタッフまでお伝えください。

□チームスタッフ

医師・看護師・薬剤師・栄養士・放射線技師・理学療法士・退院支援看護師

◆2017年度実績

1年間で8診療科、のべ110名の入院患者さんに関わらせていただきました。

疼痛緩和、疼痛以外の身体症状緩和、在宅診療への支援などがあげられました。

横須賀市立市民病院
緩和ケアチーム

緩和ケアのご案内

がんの治療中や療養中に起こる様々な苦痛...近年、これらの苦痛を緩和する医療ががんの治療と並行して行われるようになってきています。当院では、「緩和ケアチーム」が主治医や病棟スタッフと連携して患者さんと家族の苦痛を緩和するためのサポートを行っています

お困りではありませんか？

緩和ケアチームでは、このような相談に対応しています

- 痛みが辛い
- 息が苦しい
- 身の置き所がない
- 不安やいらいら、夜眠れない
- 気分が落ちこんで何もする気にならない
- 麻薬の痛み止めを出されたが、不安で飲めない
- 退院して自宅で過ごしたいがこのままでは不安



緩和ケアとは？

緩和ケアは、最後の手段ではありません。

緩和ケアは、体のつらさ、気持ちのつらさ、生活上のつらさに対して、総合的にサポートしていく医療のことです。がんと診断された時から、いつでも受けることができます。

緩和ケア...チーム??

チームには、医師、看護師、薬剤師、栄養士、放射線技師、理学療法士(リハビリ)がおり、痛みへの対処や気持ちのつらさを和らげる治療やケアのサポートを行っています。

入院中は、チームスタッフが定期的に病室へ伺い、また外来通院中は主治医を通して面談希望を受けます。病棟が変わったり、主治医が変わるなどの心配はありません。

緩和ケアを受けるには

当院に通院や入院をしているがん患者さんであれば、どなたでもその時の状況に応じた相談ができます。医療スタッフからお勧めすることもあります。希望される方は主治医もしくは看護師にご相談ください

